

交通工学研究会

特別会員 各位

(一社)交通工学研究会

JSTEシンポジウム運営小委員会

前略

日頃より、一般社団法人 交通工学研究会の各種活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、当会では、当会活動のいっそうの活性化と地方展開、並びに交通技術水準の全国的な向上を趣旨として、令和元年度より「JSTE シンポジウム」を開催しています。昨年度の第3回は、愛媛 松山及びリモートにて2021年12月2～3日の2日間で実施し、全国から729名(大学等53名、行政57名、民間等278名、学生341名)の方々にご参加いただきました。第3回の参加状況につきましては、別添の「第3回JSTE シンポジウムセッション聴講者数・アンケート調査の集計結果」をご参照いただければ幸いです。

JSTE シンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会等の講習会やセミナー、ミニシンポジウムなどの企画を併せ持ち、一度に様々な内容を体験することのできる、いわばショーケース的な位置づけのイベントとして、今後全国の地方都市を巡回し、毎年12月頃に開催します。交通工学に関わる最新の技術動向について情報を得ることができ、交通工学に携わる技術者や行政官のネットワークを拓ける機会となることを狙ったものです。研究者のみならず、行政機関や民間企業など実務に携わる方々の参加を特に期待しているものです。

第4回JSTEシンポジウムは、2022年11月24日(木)～25日(金)の2日間の日程で、札幌市教育文化会館において開催します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、開催形態に変更が生ずる可能性もありますが、現時点では感染拡大防止対策を施したうえで、対面を中心とした方式(リモート配信も併用)で開催することを予定しております。

本シンポジウムでは、特別会員の皆様の中から、スポンサーを募集しております。特別会員各社の取り組みをより広く知っていただくとともに、全国各地における交通工学に携わる実務者、研究者、学生との交流機会として、ご検討いただければ幸いです。

なお、第4回JSTEシンポジウムにおいては、スポンサーとして携わっていただいた特別会員の皆様から頂いた貴重なご意見等を可能な限り反映し、スポンサーシステムの見直しを行うとともに、学生や国土交通省・地方自治体等の行政担当者にもより多く参加していただく仕組みを検討しております。昨年度から、各社の実務研究や技術開発に関する情報を直接学生に伝えていただく「実務研究紹介セッション」や、スポンサー企業の若手技術者による新技術に関する取組みや今後の研究・技術開発の見通しなどを発表していただく「若手技術発表セッション」を開催しました。

昨年度の試行の経験を踏まえ、今年度は「実務研究紹介セッション」と「若手技術発表セッション」の魅力をもっと高めるため、以下のように進めていく予定です。

I 実務研究紹介セッション

スポンサー各社の実務研究や技術開発に関する情報を直接学生に伝えていただく「実務研究紹介セッション」では、各社の交通工学関連業務に携わる技術者と学生の間での有益な情報交換がなされました。参加学生がより交通工学を身近に感じると同時に、学生のスポンサー会社の認知度が向上しました。しかしながら、同セッションを各社個別に実施したことから、「セッションでの内容が類似していた」という感想を持つ学生も多くいたため、今年度は、内容の類似したセッションを繰り返すことを回避するために、以下のようにグループ別のセッションを実施する予定です。

① グループディスカッションの導入（前半）

公共交通、需要予測、渋滞対策などのテーマごとに、4社程度が参加し、各社の先進的な取り組みについて説明・質疑を行います。学生と年齢が近い入社数年目の若手に参加して頂き、研究や実務内容の紹介に留まらず、遂行時のやりがいや苦労話/失敗談などについても語って頂きます。

② 個別の質問受け付け時間（後半）

グループディスカッション終了後に参加会社ごとにブレイクアウトルームを開設し、各ブレイクアウトルームにおいて、各社と参加学生との間で、会社の説明ならびに研究業務等に関する質疑応答を行います。

II 若手技術発表セッション

松山大会では、「道路交通分野におけるビッグデータやAIの活用」をテーマとして、スポンサー企業の若手技術者による関連新技術に関する取組みの現状と課題、今後の研究・技術開発の見通しなどの発表と意見交換が活発に行われました。各社の特徴ある技術力をアピールする良い機会であるとともに、時宜を得たテーマであったため、聴講者の満足度も高い企画となりました。本年度はより多くの方に聴講いただけるように、国土交通省の地方整備局・国道事務所や、地方自治体の関連部署にリモート配信が可能となるよう、関係機関と調整をしております。

本年度のテーマは「VR・DS（ドライビングシミュレータ）・3DCGなど、仮想空間を使った最近の交通安全対策技術について」を予定しております。

つきましては、下記の趣旨にご賛同いただき、スポンサーをお引き受けいただける場合には、**別紙2**のスポンサー申し込みフォームにご記入いただき、**2022年6月30日(木)までに**、交通工学研究会事務局(担当：北川・植田、jste-sympo@jste.or.jp)までメールでご回答いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

草々

記

1. JSTEシンポジウムの概略プログラムとセッション区分

本シンポジウムでは、研究論文発表等の一般募集は行わず、すべて企画セッションにより構成されます。企画セッションは、次の3つの区分を予定しています：

- 1) 交通工学研究会の各種委員会等によるセッション
- 2) 特別会員によるスポンサードセッション
- 3) 地元特別セッション

上記の企画セッションの中身は、各セッションの企画に一任します。例えば、シンポジウムやパネルディスカッション形式のスペシャルセッション、企画テーマに関する研究発表・実務報告、小講習会、などが考えられます。

上記のほか、1日目には、交通工学研究会の活動紹介と基調講演を含む全体セッション、ならびに交流会（新型コロナウイルス蔓延状況によっては中止の可能性があり）を予定しています。これらの概略プログラムの現時点での案は、**別紙1**のとおりです。

2. スポンサーの区分

本年度は、スポンサーには次の表に示す2つの区分A, Bを設定させていただいております。

スポンサー区分	スポンサー料(税別)	シンポジウム広告、ポスター等へのスポンサーロゴの掲載 ブース・展示スペースの提供	スポンサードセッションの企画・運営	若手技術発表セッションへの参加	機関誌「交通工学」へのスポンサードセッション内容報告記事の掲載(事後)	特別招待券*の配布 (1枚につき1名様 の参加登録費無料)	実務研究紹介セッションの運営**
A	¥200,000	○	○	○	○	○(10枚)最大154,000円の登録費相当	○
B	¥100,000	○	—	—	—	—	○

*第1回シンポジウムの特別招待券は非会員の方に利用を限定しておりましたが、第2回シンポジウムから、非会員の方を招待し交通工学のすそ野を拡げる趣旨は維持しつつ、特別会員の参加費として利用して頂くことも可能としました。

**就職活動中の学生を対象に、各社の実務研究や技術開発等を紹介いただきます。来場する学生だけでなく、インターネットを介して全国の学生へインタラクティブに配信可能な形式で実施されます。

3. スポンサーセッションについて(スポンサー区分Aの場合のみ)

スポンサー区分Aになっていただく場合、御社において、上記1.2)の「特別会員によるスポンサーセッション」の企画・運営をお願いします。 交通工学研究会の今後の看板イベントとなるJSTEシンポジウムの成功に向けて、御社のお力添えをいただければ幸いです。

スポンサーセッションの主な特徴は、次の通りです：

- スポンサーセッションは、プログラムに御社がセッションのスポンサーであることが明記されますので、御社の活動と技術力について絶好のアピールの場になることが期待されます。
- スポンサー費用として、1セッションあたり**¥200,000(税別)**のご負担をお願いします。
- スポンサーセッションは、御社の豊富なご経験を活かして、交通工学に関わる時宜を得た集客力のあるセッションの企画、運営をお願いするものです。このため、御社の事業内容のみを広報する場ではありませんが、御社の取り組まれた興味深い事例の紹介は歓迎します。また、例えば行政担当者や学識経験者・民間技術者などに話題提供を依頼して、スペシャルセッションを企画することなどが考えられます。たとえば、例として次のようなイメージですが、昨年度のセッションについては別添の「第3回JSTEシンポジウムセッション聴講者数・アンケート調査の集計結果」をご参照ください：
 - ・ ○○コンサルタント： 「生活道路における抜け道利用防止対策」
 - ・ △△株式会社： 「交差点における歩行者事故防止に向けて」
 - ・ ××エンジニアリング： 「道路事業評価のベストプラクティス」
 - ・ ...
- スポンサーセッションを実施する特別会員には、まず、セッション企画とセッションオーガナイザーの選定をしていただきます。セッションオーガナイザーには、セッション内プログラム編成、当日のセッション運営、セッション資料の取りまとめ等をお願いします。
- 応募者多数の場合や、類似テーマを提案された場合は、調整を行う場合があります。
- 対面を中心とした開催方式（リモート配信も併用）ですので、セッションオーガナイザーなど主要な登壇者は会場で発表していただくようお願いいたします。リモートの配信では、チャット機能の活用等、リモート開催ならではの進行方法の工夫を加えていただきますようお願いいたします。
- スポンサーセッションをご担当いただく各社が決まった段階で、セッション企画・運営方法に関する説明と、セッション内容の調整を必要に応じて行うために、スポンサー説明会を実施する予定です。

◆お問合せ： 一般社団法人 交通工学研究会（担当：北川・植田，jste-sympo@jste.or.jp）

Phone: 03-6410-8717(代) 050-5507-7153(IP)

Fax: 03-6410-8718

以上

第4回 JSTE シンポジウム(札幌) 概略プログラム(案)

日程： 2022年11月24日(木), 25日(金)の2日間

会場： 札幌市教育文化会館 (〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目)

<https://www.kyobun.org/>

開始時刻	終了時刻	時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
<第1日目(11/24)>						
9:00 会場準備開始						
9:30 受付開始						
10:00	11:40	100	企画セッション1	企画セッション8	企画セッション15	
11:40	12:30	50	昼食			
12:30	13:40	70	全体セッション (別会場予定)			
13:40	13:50	10	休憩			
13:50	15:30	100	企画セッション2	企画セッション9	企画セッション16	実務研究紹介セッション(公共交通)
15:30	15:40	10	休憩			
15:40	17:20	100	企画セッション3	企画セッション10	企画セッション17	実務研究紹介セッション(需要予測)
17:20	17:40	20	移動			
17:40	19:00	80	交流会(会費制)			
<第2日目(11/25)>						
9:00 受付開始						
9:30	11:10	100	企画セッション4	企画セッション11	企画セッション18	
11:10	11:20	10	休憩			
11:20	13:00	100	企画セッション5	企画セッション12	企画セッション19	実務研究紹介セッション(交通安全)
13:00	14:00	60	昼食			
14:00	15:40	100	企画セッション6	企画セッション13	企画セッション20	実務研究紹介セッション(渋滞対策)
15:40	15:50	10	休憩			
15:50	17:30	100	企画セッション7	企画セッション14	企画セッション21	実務研究紹介セッション(高速道路)
片付け, 撤収						

- ・企画セッションは各100分
- ・企画セッション数最大21(各委員会セッション, スポンサーセッション, 地元特別セッション)
うち, スポンサーセッションは8~10程度
- ・全体セッションは, 会長挨拶, 各委員会報告, 基調講演
- ・実務研究紹介セッションのテーマは一例を示しており, 実際とは異なることもあります.
- ・交流会は新型コロナウイルス蔓延状況によっては中止の可能性もあります.